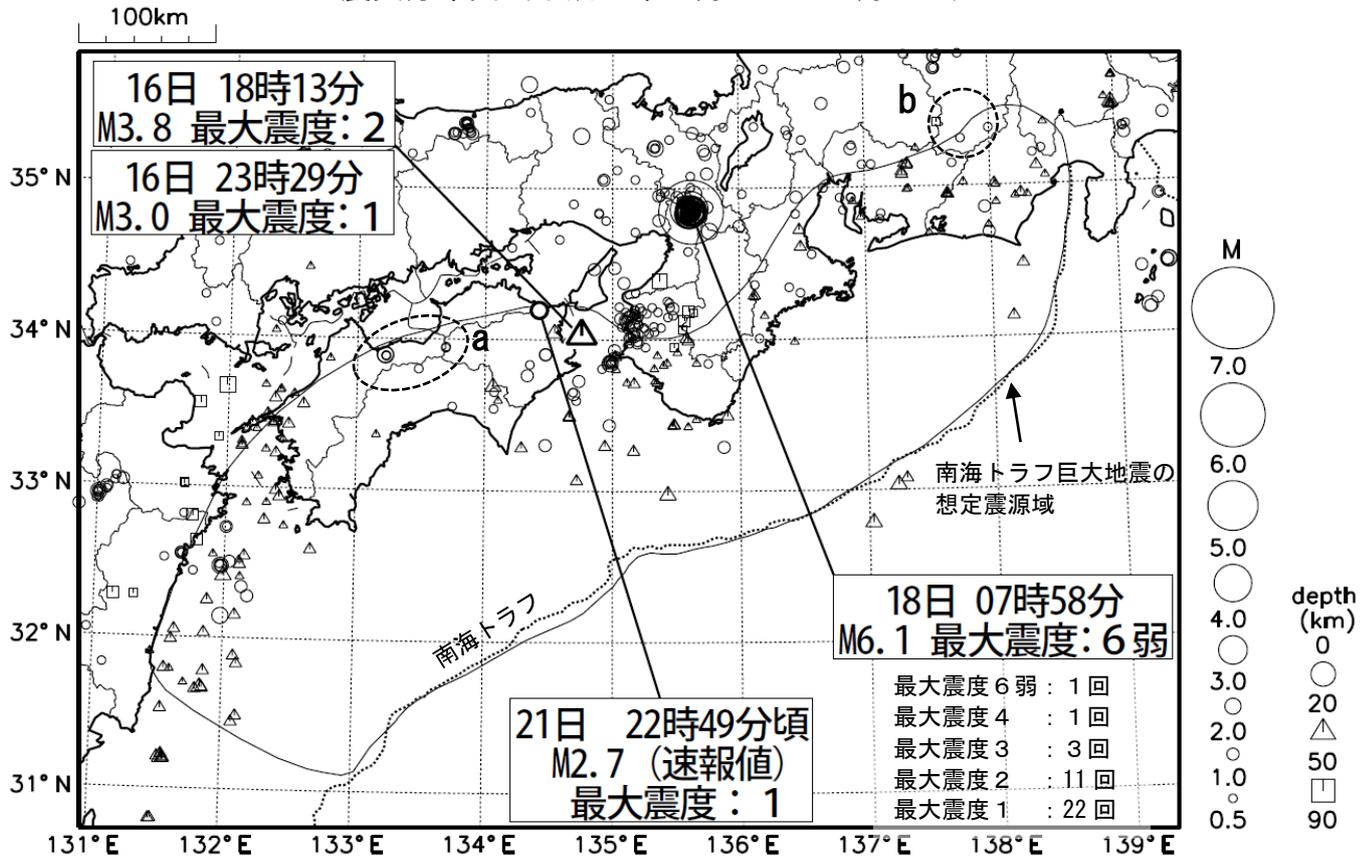


# 南海トラフ周辺の週間地震活動概況 No. 25

\* 震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（平成30年6月15日～6月21日）



“南海トラフ巨大地震の想定震源域で震度1以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している (M $\geq$ 0.5、震源の深さ0~90km)。

## [概況]

19日以降、長野県付近のプレート境界深部で短期的ゆっくりすべりが発生していると推定される。

### [主な地震活動]

・16日18時13分に、紀伊水道の深さ43kmでM3.8の地震（最大震度2）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

### [主な深部低周波地震（微動）活動<sup>※1</sup>と地殻変動]

- ・13日以降、愛媛県東予から徳島県北部、香川県西部にかけて（領域a）を震央とする深部低周波地震（微動）を観測している。
- ・19日以降、長野県（領域b）を震央とする深部低周波地震（微動）を観測している。深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、長野県と静岡県に設置されている複数のひずみ計<sup>※2</sup>に変化が現れた。これらは、プレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

### [その他の地域]

・18日07時58分に、大阪府北部の深さ13kmでM6.1の地震（最大震度6弱）が発生した。

※1：上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみを表示している。このため、震源決定精度が高くない深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。

※2：気象庁、静岡県のひずみ計。